
第3部 基本計画

基本目標Ⅰ 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら

分野①子育て	施策1 子育て支援の推進
	施策2 子育て家庭の負担軽減
	施策3 保育所の充実
分野②教育	施策4 教育活動の充実・支援
	施策5 国際理解教育の推進
	施策6 安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実
	施策7 幼児教育の充実
分野③ 児童館	施策8 子どもの健全育成を目指す児童館運営の充実
分野④ 生涯学習	施策9 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進
	施策10 生涯学習環境の整備・充実
	施策11 文化財保護と伝統文化の継承
分野⑤ スポーツ	施策12 生涯にわたるスポーツライフの推進
分野⑥ 人材育成	施策13 人材育成の推進

施策Ⅰ 子育て支援の推進



現状と課題

- 核家族化や地域とのつながりの希薄化により、子育て世帯が孤立しやすい環境となっています。子育て世帯を孤立させないために、子育てサークルや相談会などのニーズに対応する必要があります。
- 妊娠・出産・育児に関する相談は保健福祉課内に設置された子育て世代包括支援センターで対応していますが、さらなる周知が必要です。
- 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うこども家庭センターの開設を予定しており、社会福祉士など専門職の確保を検討しています。
- 全国的に児童虐待が増加傾向となり、相談や支援体制の整備など予防対策強化が求められます。

今後の方針

- 子育て世帯の孤立を防ぐため、相談窓口として子育て世代包括支援センターを広く周知し、子育て世帯が相談しやすい環境を整備します。
- 妊娠中から乳幼児期の育児に関する不安や悩みの傾聴・相談に応じ、安心して子育てすることができる環境の整備や細やかな相談支援を行っていきます。
- こども家庭センターを開設し、一体的な相談支援を行います。また、要保護児童対策地域協議会とも連携し、要支援及び要保護児童の支援に努めます。

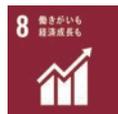
主な取り組み

事業名	事業内容
相談体制の充実	母子健康手帳交付、個別相談、離乳食教室、乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児・3歳児）、乳幼児健康相談（9～10か月児・2歳児）等で切れ目のない支援を実施します。
子育て事業の周知	子育て施設・事業に関するマップやガイドブックを作成・配布し、子育て世帯が必要とする情報を提供します。



心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら

施策2 子育て家庭の負担軽減



現状と課題

- 子育て家庭にとって物価高騰等厳しい経済状況が続くなか、家庭における経済的負担の軽減を図るための支援が必要とされています。
- 村においては、子育てに関する支援として保護者の経済的負担の軽減を図るため、2015年度より保育所と幼稚園の保育料等及び給食費の無料化を開始しました。2019年度には国の施策として保育料のみ無料化となりましたが、保育所の保育料や幼稚園給食費及び一時預かり保育料などは無料化の対象となっていません。
- 2022年度より小学校から中学校までの給食費無料化事業を実施し、子育て家庭の負担軽減に大きく寄与しています。



今後の方針

- 物価高騰等により子育て世帯の家計が圧迫されるなかで、村独自の幼稚園給食費及び一時預かり保育料等の無料化といった経済的支援を継続し、今後も子育てしやすい環境の整備を進めます。
- 各種助成事業を周知し、該当する方が利用しやすいよう情報提供に努めます。

主な取り組み

事業名	事業内容
保育料等無料化事業	村民を対象に保育所や幼稚園の保育料等を無料とします。
給食費無料化事業	村民を対象に幼稚園から中学3年生までの12年間、給食費を無料とします。
ひとり親家庭医療費助成事業	ひとり親家庭の親にかかる医療費の一部を助成します。

施策3 保育所の充実



現状と課題

●全国的な少子化と同様、村でも少子化が進み入所登録児童数についても、年々減少傾向にあります。また、保育所に入所していない保護者から、子育ての不安や悩みを聞くことがあり、子育て家庭への幅広い支援が必要とされています。

今後の方針

●保育所に入所していない親子を対象に、子育てに関する情報共有の場を提供し、安心して子育てができるよう支援します。また、村全体で子どもの成長を育むため、幼稚園・児童館との連携を強化し、子どもに関する情報交換などを積極的に行います。

主な取り組み

事業名	事業内容
保育所施設の整備	安全対策や防犯、災害対策を行い、安心・安全な保育環境の整備を目指します。
ICT(※)関係の導入	保育事務(保育記録等)や保護者とのやり取り等にICTを活用し、保護者への利便性を図ります。
地域子育て支援事業	高齢者との交流を引き続き行います。また、緊急時や保護者のニーズに応じた一時預かり保育の充実、保育所に入所していない親子自由来所の実施を目指します。
保育士の資質向上	保育士の自己評価・研修会を実施し、職員の資質向上を目指します。

※ICT・・・情報通信技術のこと。

施策4 教育活動の充実・支援



現状と課題

- 村の未来を担う人づくりのためには、幼稚園から小・中学校にわたる12年間連続した教育が必要です。そのために、確かな学力向上を基本とし、「魅力あるひとづくり」、「健やかなひとづくり」、「心豊かなひとづくり」を基本目標に掲げ教育活動を実践しています。
- 学力向上を図るために各学校に学習支援員を配置し、児童生徒一人ひとりに対応できるよう支援を行っています。
- 2020年度よりタブレットが児童一人一台の配置になりました。そのタブレットを活用し、教育効果を高めるよう今後も工夫検討していく必要があります。
- 教職員研修の充実を図るため、先進校視察や大学の教授をお呼びしての学力向上研修会を開催し、教職員の指導力及び資質向上を実施しています。
- 地域人材や地域の教材及び体験活動を取り入れた活動を実施しています。
- 教育委員会の重点の一つに「むし歯治療」を掲げ、自分の健康に関心を持ち、健やかに育つよう関係機関と連携しながら教育活動を推進しています。
- 生徒一人ひとりが考えている進路を実現できるようきめ細やかな支援が重要です。
- いじめ・不登校の出現率が高いため、「学校に行くのが楽しい」という子どもの割合が多くなるよう教育活動を工夫する必要があります。



今後の方針

- 今後の村を担う人づくりのために、ふるさと「中島村」を再認識するためのふるさと学習を推進していきます。
 - ICT機器を使用した教育活動の推進及びタブレット使用のためのソフトウェアの整備等に努めていきます。
 - 学力向上や一人ひとりに応じた支援を充実するための学習支援員の配置に今後も努めていきます。
 - 各学校が校外学習や体験学習等を行えるよう支援に努めます。
 - 今後もICT教育(※)が推進できるようICT支援員の配置に努めます。
- ※ICT教育…これまでアナログで行っていた教育のデジタル化のこと。

主な取り組み

事業名	事業内容
確かな学力を育む教育の推進	村及び校内学力向上研修会の開催や先進校視察、講師をお呼びしての研修会等を開催し、教職員の指導力の向上を図ると共に、学力を身につけた子どもの育成に努めます。
豊かな心を育む教育の推進	道徳教育・体験活動等を実施し、自主性や思いやりの心を育成すると共に、「いじめは絶対に許さない」「学校に行くのが楽しい」と思える子どもの育成に努めます。
健やかな体を育む教育の推進	運動・体力能力テストを基に学校及び学年の課題を明確にし、部活動や栄養士を活用した食育指導等により子どもの健やかな体の育成を支援します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
「学校に行くのは楽しいと思いますか」 全国学力テスト結果 (当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合)	小学校:93.0% 中学校:72.2%	小学校:95.0% 中学校:75.0%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」	小学校:100% 中学校:98.2%	小学校:100% 中学校:100%
「自分には良いところがあると思いますか」	小学校:98.3% 中学校:70.9%	小学校:100% 中学校:100%

施策5 国際理解教育の推進



現状と課題

- 村の未来を担う人づくりの一つとして、国際理解教育に重点を置いています。その一つがマレーシアへの修学旅行です。マレーシアは東南アジアに位置し、多民族国家で親日国でもあり治安が安定しています。グローバル化に応じた国際感覚・コミュニケーション能力・異文化の尊重等を学ぶため、2016年度から中学3年生全員を派遣する修学旅行を実施しています。
- 小学校と中学校の英語の連携及び異文化体験活動を実施するため、2015年度より天栄村にあるブリティッシュヒルズを訪問しています。2019年度からは中学1～3年生まで日帰りでの研修を実施しています。
- 2019年度から小学校での英語科導入にあたり、これまで1人だった外国語指導助手を2名に増やし子ども達の英語力向上を実施しています。



今後の方針

- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっているマレーシアへの修学旅行を再開します。
- 英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、4年計画のもと英語で会話ができる人材を育てていきます。
- 小学5・6年生の英語科における外国語指導助手を村単独で引き続き雇用し、授業支援とブリティッシュヒルズでの研修に活かせるように努めます。
- 小学5～6年生は1回まで、中学1～3年生は2回まで英語検定受験の検定料を補助します。

主な取り組み

事業名	事業内容
マレーシアへの修学旅行	中学3年生の修学旅行をマレーシア(海外)として実施し、国際感覚が磨けるよう支援します。
異文化体験学習	小学6年生、中学1~3年生までの4年間、語学研修施設(天栄村ブリティッシュヒルズ)で研修を行います。
外国語指導助手の配置	中学校の英語の授業や小学5・6年生の英語科において活用できるよう外国語指導助手を2名配置し英語教育の充実に努めます。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
マレーシアでの研修は有意義であったかのアンケート	-	満足:90%
外国語指導助手配置	小学校:1名 中学校:1名	小学校:1名 中学校:1名
異文化体験学習(年間)	小学校:1泊2日 中学校:一日研修3回	小学校:1泊2日 中学校:一日研修3回

施策6 安全・安心な学校施設の整備と 教育環境の充実



現状と課題

- 中島中学校は1979年に新校舎が完成し、2023年度で44年目を迎えます。毎年修繕を実施しながら校舎の維持管理に努めていますが、今後中学校の大規模改修を検討する必要があります。
- 滑津小学校では1996年に大規模改造・耐震補強工事を実施しました。しかし、2011年の東日本大震災及び2021年福島県沖地震等により教室増築部分や職員トイレ等の被害が大きくなっています。子どもの安全を第一に考え修繕してきましたが、大規模改修を検討していく必要があります。
- 各学校の施設において修繕が必要な箇所が多く見られます。
- 各学校の太陽光発電施設の老朽化に伴い、発電量の低下が見られます。



今後の方針

- 各学校施設の改善・改修を図ると共に、大規模改修等も考慮しながら教育施設の安全管理に努めます。
- 各学校からの修繕要望に適正に対応できるよう各学校と連携を図りながら取り組んでいきます。
- 各学校のプール使用については、長期的な見通しを持ち、諸経費等を勘案し、より良い対応策を検討します。
- 太陽光発電については、各学校に設置してから10年以上経過しています。発電量の低下や機械の故障等もあり、今後の在り方について検討します。

主な取り組み

事業名	事業内容
各教育施設の修繕改修	各学校と連携を図り、子ども達が安全に生活できる環境づくりに努めます。
大規模改修計画	大規模改修計画が必要な施設について計画的に実施できるよう計画立案に努めます。
プールの安全管理	老朽化している各学校のプール本体及びプール周辺、濾過機等を計画的に修繕します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
中島中学校大規模改修	-	100%

施策7 幼児教育の充実



現状と課題

- 村において、幼稚園から小・中学校の12年間連続した教育を推進しています。幼稚園は生きる力の基礎を育む大事な教育であるため、心豊かな子どもの育成に努めています。
- 幼稚園教育要領に記載されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を明確にして保育活動にあたっています。
- 少子化、核家族化の状況で子ども達は育っているため、地域の自然・人材等を活かした活動や体験活動を重視し、思いやりのある子どもが育つ保育や切り替えのできる子どもの育成に努めています。
- 各学級に配置されたタブレットやテレビモニターを活用して、子どもの興味関心・意欲を高める工夫をしながら保育活動を展開しています。
- 教職員研修の充実を図るために、村内研修に参加しています。
- 幼稚園園舎が建設されて2022年度で17年目となります。そのため、各施設に修繕が必要な箇所が見られます。



今後の方針

- 各教室に配置されたタブレットやテレビモニターを活用した保育活動を進めていきます。
- 地域の資源や人材等を活用すると共に園外での体験等を通じて、心豊かな子どもの育成に努めます。
- 子ども達の情操教育・知育教育を推進するため、様々な教材を工夫しながら保育活動を推進します。

主な取り組み

事業名	事業内容
幼保小の連携・接続	小学校及び保育所との連携会議を開催し、情報共有すると共に研修に参加し、子どもが身に付けるべき内容について共通理解を図ります。
幼児教育の充実	体験活動や講師をお呼びした保育活動、ICTを活用した保育を進め、質の高い保育活動を推進します。
教育環境の整備充実	安全・安心な保育の場となるよう環境の整備、教材教具の充実に努めます。
教職員の資質向上	教職員の資質向上を図るため先進園視察やゲストティーチャー制度を活用します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
自然体験・社会体験活動等による心の教育の充実(年間)	9回	11回
郷土教育の実施回数(年間)	-	3回
幼稚園と保育所・小学校との情報交換会(年間)	5回	6回

施策8 子どもの健全育成を目指す

児童館運営の充実



現状と課題

- 2017年4月に現在の場所に児童館を新たに開館しました。核家族化や女性の社会参画等により日中家庭に誰もいない家庭が多くなり、放課後児童クラブの利用者数は増加傾向が見られます。
- 児童館の経営方針として「放課後児童クラブの充実」、「子育て支援・体験交流活動の充実」、「学習支援の充実」の3つの柱を掲げ取り組んでいます。
- 放課後児童クラブにおいて、遊び・学習・体験交流活動等を通して、自主性・社会性の向上を図り児童の健全育成に取り組んでいます。
- 児童館主催事業、自由来館事業、ジュニアクラブ事業、キッズクラブ事業を通して、子どもの居場所づくり・子育て支援・体験交流活動を実施しています。
- 学習支援として、金曜日の放課後学習支援・長期休業中における小・中学生対象の学習支援、中学3年生を対象とした土曜学習会、小学6年生対象の英語検定や中学3年生対象の新教研もぎテストを実施し、児童館を有効活用しています。
- 職員の資質向上を図るため、各種研修会に参加し指導力向上を図っています。



今後の方針

- 児童館の経営方針として「放課後児童クラブの充実」、「子育て支援・体験交流活動の充実」、「学習支援の充実」の3つの柱を今後も継続して取り組んでいきます。
- 放課後児童クラブにおいて、今後も事業内容を工夫しながら取り組んでいきます。
- 「新総合子どもプラン」にある目指す姿に向かって児童館運営を工夫していきます。
- 児童館の様々な事業や内容を検討し、子ども達が興味関心を持って参加できるよう事業の検討を行います。
- 中学3年生対象の土曜学習に多くの生徒が参加したいと思えるような学習内容等を検討していきます。

主な取り組み

事業名	事業内容
児童クラブの充実	基本的な生活習慣の定着と各種季節に応じた行事交流活動を通して、自主性・社会性の向上と児童個々に応じた活動を行います。
子育て支援・体験交流活動の充実	児童館内の各施設を有効活用し、0～18歳までの発達段階に即した体験活動等を工夫します。
学習支援の充実	児童クラブを利用している児童及びジュニアクラブ児童の金曜日の学習会、長期休業中の小・中学生の学習会、中学3年生対象の土曜学習会等、個々の課題が解決できるような学習支援に努めます。
職員の資質向上	職員の資質向上を図るために、各種研修会に参加すると共に、児童館としても研修を実施し資質向上に努めます。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
児童クラブでの体験交流活動(年間)	17回	20回
小学生及び未就学児体験交流活動(年間)	17回	20回
学習会の満足度(アンケート)	-	95%

施策9 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進



現状と課題

- 人生100年時代を心豊かに暮らすためには、生涯学習環境の整備・充実が重要となります。また、定年延長により現役で働く年齢が高くなってきます。このような時代背景に即した生涯学習の在り方、村民が何を学びたいのか等を把握しながら、心豊かに暮らせる学習環境の整備を考えていかなければなりません。
- 現在、各種教室等への参加により学習活動が活発に行われていますが、参加者が固定されている傾向が見られます。また、活動している文化団体や生涯学習課主催の事業への新たな参加者は少ないのが現状です。村民が魅力を感じるような教室等の見直しが必要です。
- 教育委員会主催で文化講演会を年1回開催しています。豊かな教養を身につける取り組みとしていくために回数や内容について検討していく必要があります。
- 多くの村民の参加を得るような生涯学習活動の企画や回数・運営等を工夫する必要があります。



今後の方針

- 学ぶ楽しさや生きがいの持てる生涯学習活動への参加を通じて、村民の心豊かに生きる力の育成を目指します。
- 各年代に応じた魅力ある学習活動を検討していきます。
- 生涯学習センター輝ら里での事業内容を村民に知らせるための方法を検討していきます。

主な取り組み

事業名	事業内容
社会教育団体・文化団体等への活動支援	社会教育団体・文化団体等への支援の充実及び団体間の交流促進に努めます。
学習機会の拡充と学習内容の充実	現代的課題や村民のニーズを踏まえた学習内容等の提供、また、各種教室・イベントの内容を充実させ、活動しやすい環境整備に努めます。
文化活動の推進	文化活動の発表の機会を拡充し、村民自らが文化的教養を高め、良質な文化・芸術に親しむ環境づくりに努めます。また、文化講演会等を充実させ、村民の教養向上に努めます。
地域・学校・家庭の連携とボランティア活動の推進	地域・学校・家庭での連携強化を図るとともに、人材バンクをより良く構築し、地域や学校でのボランティア活動を推進します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
新たな公民館事業回数(年間)	2回	5回
公民館事業(ナイスデイ、クラウン、書道、絵画、英会話)の事業回数(年間)	62回	80回

施策10 生涯学習環境の整備・充実



現状と課題

- 生涯学習活動の拠点となる生涯学習センター輝ら里は総合的な学習の拠点として活用が図られています。さらに村民一人ひとりが、地域社会の一員として、豊かな人生を送ることができるよう生涯学習環境の整備と機能の充実を進める必要があります。
- 輝ら里内にある図書室には幼児から高齢者に応じた様々な本が置かれています。また、読み聞かせなどイベントを開催しています。多くの村民が本に親しみ、豊かな教養を身につける場として図書室があることを情報発信しています。
- 中島村農村環境改善センター（1979年建築）や中島村体育センター（1987年建築）は建築されてから30年以上経過していることから、老朽化が進んでいます。
- 改善センターには使用されていない村民プールや洋式庭園が存在しています。



今後の方針

- 全ての人が生きがいを持ち、生涯にわたって自己を磨き質の高い学びを続け、身近な場所で学習や運動・文化活動に親しめるよう施設の整備に努めます。
- 図書室蔵書の利活用を図り、多くの村民が利用できるよう検討していきます。
- 村民の作品展示場所としての「村民ギャラリー」のコーナーを確保し、多くの方々に見ていただける機会と場所の提供に努めます。
- スポーツ施設について、村民の安全や利便性が確保できるよう検討していきます。

主な取り組み

事業名	事業内容
生涯学習センター輝ら里の適正管理・有効活用	集会室・図書室・憩いのスペース等施設の整備充実を図り、村民のふれあいの場としての空間づくり、学習成果等の展示・発表の場を提供し、総合的教育文化施設としての機能を強化します。
各種イベント開催に対応した施設整備	各種イベント等に対応できるよう施設の機能充実に努めます。
生涯学習情報の提供	村民の学習ニーズに適切に応えることができるよう、生涯学習活動に関する情報の提供を積極的に推進します。
図書室の利用促進	本に親しむことのできる図書室の環境整備を行うとともに、幼稚園・学校との連携による読書活動を推進します。また、村民のニーズにあった蔵書を揃えることで村民の利用促進に努めます。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
輝ら里利用者数(村民に対する割合)	17.5%	20.0%
輝ら里図書室の村民一人あたり貸出冊数	3.4冊	5.0冊

施策Ⅰ 文化財保護と伝統文化の継承



現状と課題

- 村の文化財や伝統文化を次の世代に継承するために、史跡の案内板等設置を進めてきました。今後は案内板等改修時に併せて英語での表記等も検討していく必要があります。
- 吉岡地区から出土した「四穂田古墳出土品」は県文化財に指定されており、文化財の活用及び出土した時代背景を学ぶ機会として学芸員協力の下、児童への体験学習を行っています。
- 伝統文化については、地域の方の主体的な取り組みにより継承活動が行われていますが、担い手不足が大きな課題となっています。
- 滑津小学校では、小学3年生が汗かき地蔵太鼓を学習発表会時に披露しています。
- 小学3年生を対象に、地域文化財である「汗かき地蔵」「狛犬」等を見学し、ふるさとに伝わる文化財を学ぶ機会を確保しています。



今後の方針

- 文化財を適正に保護し、活用していくことで地域の人と人とのつながり、歴史のつながりを育みます。
- 伝統文化が次世代の人々に継承されるよう支援し、歴史ある文化的な村づくりを目指します。
- 村内にある文化財について村民に情報発信できるよう工夫します。

主な取り組み

事業名	事業内容
文化財の保護と村民への周知	文化財を適正に保護し、情報発信と PR 活動に努めます。
伝統文化の継承活動支援	地域住民が継承してきた伝統行事や伝統文化が次世代の人々に継承されるよう人材の育成に努めます。
四穂田古墳出土品の活用	四穂田古墳出土品を児童の体験学習等で活用していきます。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
伝統文化人材育成講習会(年間)	-	1回
四穂田古墳出土品体験学習(年間)	2回	2回

施策12 生涯にわたるスポーツライフの推進



現状と課題

- 村民のニーズ・社会環境の変化に対応したスポーツ施設の充実を図りながら、適正な施設の維持管理・運営を行っていく必要があります。
- 各スポーツ団体の活動を活性化するための支援や情報共有等に努め、身近なスポーツを行うきっかけづくり等の環境整備が求められています。
- 村のスポーツ振興としてスポーツフェスティバルを開催し、村民同士の交流を実施しています。



今後の方針

- 村民の健康増進と生きがいづくりのため、生涯スポーツに親しむことができるよう環境づくりに努めます。
- スポーツ推進委員会を中心に、ニュースポーツの普及を児童館や各学校、生涯学習課主催事業等で図っていきます。

主な取り組み

事業名	事業内容
スポーツ指導者の育成	地域スポーツや競技スポーツの普及と競技力向上を図るため、指導者研修会等の情報提供や新たな指導者発掘・育成及びスポーツ指導者全体の資質向上に取り組めます。
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員の資質向上、推進委員等を活用したスポーツレクリエーション活動の普及と啓発活動に努めます。
スポーツ施設の整備・改修	スポーツ施設の整備・改修を検討します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
スポーツ推進委員の研修会(年間)	5回	7回
スポーツレクリエーション活動の普及(年間)	-	3回
体育センター、改善センター、グラウンド利用者数の村民に対する割合	33%	35%

施策13 人材育成の推進



現状と課題

●将来を担う人材を育成するため、「中島村人材育成事業」を行っていますが、実績をあげることができていません。村づくりの推進力には、地域における人材の確保・育成が重要です。

今後の方針

- 「中島村人材育成事業」について、広報紙などで広く周知し、将来を担う人材を輩出できるよう努めます。
- 人材育成に関する事業展開を検討し、村民の人材育成を図ります。

主な取り組み

事業名	事業内容
人材育成支援事業	村民の人材育成に関する取組に対し支援を行います。
人材育成事業	村民の人材育成のため、セミナー等を開催します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
人材育成支援事業利用件数(年間)	0件	10件